

「rt-PA（アルテプラゼ）静注療法適正治療指針第二版」公表のお知らせ

平成24年10月

日本脳卒中学会会員各位

脳梗塞rt-PA（アルテプラゼ）静注療法実施者各位

一般社団法人日本脳卒中学会 理事長 小川 彰
同 脳卒中医療向上・社会保険委員会委員長 峰松 一夫

日本脳卒中学会が「rt-PA（アルテプラゼ）静注療法適正治療指針（2005年10月）」を発表してから7年が経過しました。この間、国内使用経験が蓄積され、国内外で本治療法に関する新たなエビデンスが明らかにされてきました。新規経口抗凝固薬、新規脳血管内治療機器が相次いで国内承認され、本年8月31日より発症4.5時間までの本療法の保険適用が可能となるなど、本療法を巡る医療環境は大きく変化しました。こうした状況の変化に対応するため、本学会では「rt-PA（アルテプラゼ）静注療法適正治療指針第二版」の作成作業を進め、皆様からのパブリックコメント(意見募集)の結果も反映させた上で、このたびの公表に至りました。本学会会員をはじめとする脳梗塞rt-PA（アルテプラゼ）静注療法実施者の皆様におかれましては、本指針（第二版）をご熟読いただき、本療法の適正な実施につとめて頂きますよう、お願い申し上げます。